



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本KFCホールディングス株式会社
コード番号 9873 URL <http://japan.kfc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 野村 聖

TEL 03-3719-0231

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	42,402	6.0	568	294.1	479	203.4	186	—
27年3月期第2四半期	40,019	0.3	144	△61.8	158	△61.7	△73	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 255百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △55百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	8.31	—
27年3月期第2四半期	△3.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	38,456	20,908	54.4	932.40
27年3月期	38,418	21,219	55.2	946.18

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 20,908百万円 27年3月期 21,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	6.4	1,500	123.8	1,600	139.7	600	—	26.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	22,783,000 株	27年3月期	22,783,000 株
28年3月期2Q	358,839 株	27年3月期	356,014 株
28年3月期2Q	22,425,630 株	27年3月期2Q	22,430,802 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が終了しており、平成27年11月5日付で四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料2ページ)「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は政府による経済・金融政策等の効果もあり、一部の企業収益に改善が見られるなど、景況は緩やかな回復傾向が見られるものの、円安による原材料価格及び人件費高騰の影響での諸物価の上昇により依然先行きは不透明な状態が続いております。

外食業界におきましても、こうしたコスト上昇の中、業界の垣根を越えた顧客獲得競争は激化し、厳しい経営環境が続きました。

このような中で、当社グループ（当社及び連結子会社）は、2015年度から始まった3ヵ年を対象にした新・中期経営計画『Building The Future 2017』を遂行し、着実な成長に向け果敢に事業展開を進めてまいります。「おいしさ、しあわせ創造企業」の理念のもと、ケンタッキー・フライド・チキン、ピザハットともに、より一層差別化されたブランドを目指し、即断即決即実行を社内の行動規範として、①「原材料、素材、手づくり調理へのこだわり」②「商品開発力の強化」③「現場力の更なる強化」の3つの基本方針のもと取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は424億2百万円（対前年同四半期6.0%増）、営業利益は5億6千8百万円（同294.1%増）、経常利益は4億7千9百万円（同203.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億8千6百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失7千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度と比較して3千8百万円増加し、384億5千6百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少17億1千9百万円、たな卸資産の増加6千5百万円、その他流動資産の増加3億3千7百万円及び有形固定資産の増加13億9千3百万円等によるものであります。

負債は前連結会計年度と比較して3億5千万円増加し、175億4千8百万円となりました。その主な要因は、買掛金の増加3億1千9百万円、未払金の減少4億1千8百万円、リース債務の増加17億1千9百万円及び未払消費税等の減少13億9千4百万円等によるものであります。

純資産は前連結会計年度と比較して3億1千1百万円減少し、209億8百万円となり、自己資本比率は54.4%となっております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1億8千6百万円、剰余金の配当による減少5億6千万円及び自己株式の取得による減少6百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度と比較して7億1千9百万円減少し、150億8千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4億4千万円の支出となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益5億1千7百万円、減価償却費12億2千6百万円、未払金の減少4億4千9百万円及び未払消費税等の減少12億3千9百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは5億6千1百万円の収入となりました。その主な要因は、定期預金の払戻による収入10億円及び有形・無形固定資産の取得による支出7億2千5百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは8億4千万円の支出となりました。その主な要因は、配当金の支払額5億6千2百万円、リース債務の返済による支出2億7千1百万円及び自己株式の取得による支出6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月24日に公表しました「平成27年3月期決算短信」に記載の平成28年3月期の通期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間より適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,804	15,084
売掛金	3,672	3,708
商品	323	322
原材料及び貯蔵品	74	140
前払費用	424	453
短期貸付金	7	6
繰延税金資産	347	385
その他	804	1,142
貸倒引当金	△126	△172
流動資産合計	22,332	21,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,122	1,972
土地	2,449	2,428
その他(純額)	1,522	3,085
有形固定資産合計	6,093	7,487
無形固定資産		
ソフトウェア	2,749	2,496
ソフトウェア仮勘定	122	214
その他	2	2
無形固定資産合計	2,874	2,712
投資その他の資産		
投資有価証券	195	254
差入保証金	5,185	5,056
繰延税金資産	1,588	1,521
その他	281	464
貸倒引当金	△134	△112
投資その他の資産合計	7,117	7,184
固定資産合計	16,085	17,384
資産合計	38,418	38,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,978	6,297
未払金	3,805	3,386
リース債務	187	539
未払法人税等	532	268
未払費用	259	252
賞与引当金	377	382
資産除去債務	10	33
その他	2,016	896
流動負債合計	13,166	12,056
固定負債		
リース債務	432	1,799
退職給付に係る負債	2,308	2,301
ポイント引当金	40	35
長期未払金	108	91
資産除去債務	852	815
その他	289	448
固定負債合計	4,031	5,492
負債合計	17,198	17,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	10,430	10,430
利益剰余金	4,228	3,854
自己株式	△733	△739
株主資本合計	21,222	20,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	95
退職給付に係る調整累計額	△58	△29
その他の包括利益累計額合計	△2	66
純資産合計	21,219	20,908
負債純資産合計	38,418	38,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	40,019	42,402
売上原価	21,848	23,346
売上総利益	18,170	19,056
販売費及び一般管理費	18,026	18,488
営業利益	144	568
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	2
受取賃貸料	86	74
その他	17	8
営業外収益合計	108	87
営業外費用		
支払利息	4	21
店舗改装等固定資産除却損	9	4
賃貸費用	70	72
リース解約損	-	30
その他	10	47
営業外費用合計	94	176
経常利益	158	479
特別利益		
店舗譲渡益	13	155
特別利益合計	13	155
特別損失		
固定資産除却損	7	10
店舗閉鎖損失	8	-
減損損失	6	107
特別損失合計	22	118
税金等調整前四半期純利益	149	517
法人税、住民税及び事業税	284	333
法人税等調整額	△61	△3
法人税等合計	223	330
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73	186
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△73	186

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73	186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	39
退職給付に係る調整額	4	29
その他の包括利益合計	17	69
四半期包括利益	△55	255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55	255
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	149	517
減価償却費	1,111	1,226
減損損失	6	107
有形固定資産除却損	16	13
リース解約損	-	30
店舗譲渡損益(△は益)	△13	△155
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△69	23
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16	36
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△7	△4
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	4	21
売上債権の増減額(△は増加)	△149	△31
たな卸資産の増減額(△は増加)	164	△65
仕入債務の増減額(△は減少)	373	319
未払金の増減額(△は減少)	△265	△449
未払費用の増減額(△は減少)	52	△6
前受収益の増減額(△は減少)	336	564
未払消費税等の増減額(△は減少)	648	△1,239
長期前払費用の増減額(△は増加)	△38	△228
その他	32	△671
小計	2,368	7
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△4	△21
法人税等の支払額	△283	△432
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,085	△440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,000	1,000
店舗譲渡による収入	20	216
有形固定資産の取得による支出	△639	△417
無形固定資産の取得による支出	△804	△307
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	5	5
敷金及び保証金の差入による支出	△153	△14
敷金及び保証金の回収による収入	183	110
その他	△99	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	509	561

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△4	△6
リース債務の返済による支出	△123	△271
配当金の支払額	△562	△562
財務活動によるキャッシュ・フロー	△690	△840
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,905	△719
現金及び現金同等物の期首残高	14,146	15,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,051	15,084

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	KFC事業	ピザハット事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,371	7,132	2,514	40,019	—	40,019
セグメント間の内部 売上高又は振替高	217	93	3,035	3,346	△3,346	—
計	30,589	7,226	5,550	43,365	△3,346	40,019
セグメント利益又は損失(△)	635	△787	244	92	51	144

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引相殺消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	KFC事業	ピザハット事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,553	7,391	2,457	42,402	—	42,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	269	138	3,742	4,150	△4,150	—
計	32,823	7,529	6,200	46,553	△4,150	42,402
セグメント利益又は損失(△)	528	△280	670	918	△349	568

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引相殺消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、平成26年4月1日付で持株会社体制へ移行したことを契機に、第1四半期連結会計期間より管理区分を見直した結果、従来KFC事業・ピザハット事業に含まれておりました、持株会社であり各事業会社の業務受託や経営指導を行っている日本KFCホールディングス株式会社及び各事業会社の広告宣伝関連を取り扱う子会社である株式会社ケイ・アドの売上高・セグメント損益に関して、その他事業セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「KFC事業」及び「その他事業」において、当第2四半期連結累計期間時点で閉店を決定した店舗について減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、KFC事業17百万円、その他事業89百万円であります。